



レオナルド・ダ・ヴィンチと 「アンギアーリの戦い」展

～日本初公開「タヴォラ・ドーリア」の謎～

京都府・トスカナ州経済交流記念事業
京都市・フィレンツェ市姉妹都市提携50周年記念事業

Leonardo da Vinci
and *The Battle of Anghiari*
— The Mystery of *Tavola Doria* —

2015年 8月22日 | 土 | — 11月23日 | 月・祝 |

休館日 | 月曜日 (祝日の場合は開館、翌平日休館)

開室時間 | 10:00～18:00 ※金曜日は19:30まで (入場はそれぞれ30分前まで)

主催 | 京都府、京都文化博物館、京都新聞

共催 | 京都市

特別後援 | イタリア共和国大統領

後援 | 外務省、文化庁、イタリア文化財・文化活動・観光省、イタリア大使館、イタリア文化会館、フィレンツェ市、京都市教育委員会、京都府教育委員会、京都商工会議所、(公社)京都市観光連盟、(公社)京都市観光協会、歴史街道推進協議会、KBS京都、エフエム京都

特別協賛 | セコム、日本製紙 協賛 | 大林組、関電工、大日本印刷、みずほ信託銀行

協力 | NHKエデュケーション、アリタリア-イタリア航空、日本航空、アルテリア、ヤマトロジスティクス

企画 | 東京富士美術館

※展示会場は作品保存のため、温度・湿度を厳しく設定しております。

作者不明のレオナルド・ダ・ヴィンチに基づいた「タヴォラ・ドーリア」(アンギアーリの戦い)の複製(京都府) (複製元: 東京富士美術館 (2012年、東京富士美術館より寄贈))



京都文化博物館

〒604-8183 京都市中京区三条高倉
TEL 075-222-0888 FAX 075-222-0889
URL <http://www.bunpaku.or.jp>



レオナルドとミケランジェロ 幻の競演がここで



レオナルド・ダ・ヴィンチの未完の大壁画計画《アンギアーリの戦い》は、今も多くの謎と痕跡を残しています。同壁画はイタリア・ルネサンス美術の歴史の中でも、最も野心的な装飾計画のひとつです。シニョリアーア宮殿(現パラッツォ・ヴェッキオ)を舞台にレオナルドとミケランジェロが戦闘画において競演したエピソードは大変有名ですが、その計画の全貌はいまだ明らかにされていません。

本展のメイン作品は、失われたレオナルドの壁画の中心部分をなす激烈な「軍旗争奪」の戦闘場面を描いた、日本初公開の《タヴォラ・ドーリア(ドーリア家の板絵)》として知られる著名な16世紀の油彩画です。本展ではさらにミケランジェロが構想した壁画の原寸大下絵を模写した、同じく日本初公開の16世紀の板絵《カッシナの戦い》が出品されます。原作が失われた二大巨匠の壁画が、いずれも本邦初公開の貴重な板絵作品により500年の時を超えてならびあう、イタリア美術史上初の展示が日本で実現します。

レオナルドの構図に基づくその他の模写作品や派生作品、関連する資料類、関連する歴史的人物の肖像画など《アンギアーリの戦い》に関する作品・資料が一堂に集結する世界でも初めての企画展。レオナルドが試みた視覚の革命を検証し、イタリア美術史上の一大エピソードである失われた壁画の謎と魅力に迫ります。



1. 作者不詳(レオナルド・ダ・ヴィンチに基づく)《タヴォラ・ドーリア》(《アンギアーリの戦い》の軍旗争奪場面) 16世紀前半 ウフィツィ美術館(2012年、東京富士美術館より寄贈) | 2. アリストーティレ・ダ・サンガッロ(本名バステリアーノ・ダ・サンガッロ)《カッシナの戦い》(ミケランジェロの下絵による模写) 1542年 ホウカム・ホール、レスター伯爵コレクション © Collection of the Earl of Leicester, Holkham Hall, Norfolk. By kind permission of Lord Leicester and the Trustees of Holkham Estate | 3. レオナルド・ダ・ヴィンチ 表:《騎上龍、馬、犬の習作》 裏:《疾走する騎兵、馬の頭部、後方から見た馬の習作》 1479-80年頃 パリ、ルーヴル美術館版画複製部、エドモン・ド・ロナルド・コレクション | 4. サンティ・ディ・ティート 《ニココロ・マキアヴェッリの肖像》 1570年頃 パラッツォ・ヴェッキオ博物館(フィレンツェ美術館群から寄託) | 5. フランチェスコ・ダ・サンガッロに帰属 《ニココロ・ピッチェーノの胸像》 16世紀前半 パオロ・ボンティ・コレクション | 6. 作者不詳(レオナルド・ダ・ヴィンチに基づく)《レダと白鳥》 1500-10年頃 ウフィツィ美術館 | 7. 作者不詳(レオナルド・ダ・ヴィンチに基づく)《聖アンナと聖母子》 16世紀 ウフィツィ美術館

関連イベント

① 音楽会「ルネサンスの音楽」 [8月22日(土)18:00~19:30] ※開場17:30

演奏: 端山梨奈(ソプラノ)、Massimo Marchese(リュート)、Manuel Staropoli(フルート)
会場: 当館別館ホール(定員200名) 無料(ただし、本展覧会入場券[半券可]が必要) ※要事前申し込み。

② 講演会「《タヴォラ・ドーリア》について考える」 [9月12日(土)10:30~12:00]

講師: 越川倫明氏(東京藝術大学副学長) 会場: 当館3階フィルムシアター(定員170名)
無料(ただし、本展覧会入場券[半券可]が必要) ※要事前申し込み。

①~②の申し込み方法: 往復はがきに住所、氏名(返信面にも)、電話番号、希望イベント名・番号を明記し、京都文化博物館「アンギアーリの戦い」展開連イベント」係へ。先着順。イベントごとに参加者1名につき、1枚のはがきでお申し込みください。

一般 1,300円 → 1,000円
大高生 800円 → 700円
中小生 400円 → 300円

※割引券を取り切って上記割引料金を添えて1階 当日券売り場にお出し下さい。
※会期中1枚につき10名様まで1回限り有効。
※他の割引との併用不可。

入場料 当日 前売/団体(20名以上)
一般 1,300円 1,000円
大高生 800円 700円
中小生 400円 300円

※障がい者手帳等をご提示の方と、付き添い1名までは無料 ※入館の際に学生証をご持参ください ※入場券は、チケットぴあ(Pコード:766-799)、ローソンチケット(Lコード:56273)、セブンチケットはか京阪神主要プレイガイドで販売 ※前売券は8月21日(金)までの期間限定販売



交通案内
●地下鉄「烏丸御池」下車、5番出口から三条通りを東へ徒歩約3分
●阪急「烏丸」下車、16番出口から高倉通りを北へ徒歩約7分
●京阪「三条」下車、6番出口から三条通りを西へ徒歩約15分
●JR・近鉄「京都駅」から地下鉄へ
●市バス「堺町御池」下車、徒歩約2分

THE MUSEUM OF KYOTO 京都文化博物館
〒604-8183 京都市中京区三条高倉
TEL.075-222-0888 FAX.075-222-0889
URL http://www.bunpaku.or.jp